



改悪！と改善？

抱き合わせて提案

本年1月早々に、「自治労連・ぎふ自治体一般労働組合」から「岐阜市役所の嘱託員の賃金改悪に関する」アンケートを頂きました。市嘱託員の任用替え提案にともなって、①対象労働者の約87%の人の賃下げ。②嘱託員全体として年間約6500万円の賃金減額。が重要課題となっていることに対し、議員としての見解を求められました。松原のりかず「大変問題」と回答。

岐阜市職員の30歳代の凹是正と同時提案？

ラス指数100切って、**現状95.4**・・・か

上記の自治労連アンケートへの松原のりかず回答は前号でお知らせしました。岐阜市がこの「嘱託職員の賃金是正？」と「正規の市職員30歳代の昇給改善」を抱き合わせて労組に提案されているようです。

聞けば、過去における昇給改善を「ラス指数」が「100（国と同じ）になった」ことを理由に「すぐ廃止」した結果として、30歳代職員に給与の凹現象が現れてしまったようです。現状のラスは95.4と。放置すれば、歪みはさらに大きくなるかも。

30歳代といえば、晩婚化の中では「子育ての真最中の年代」では。全国的に保育所の待機児童解消、給付型奨学金創設、さらにはUターン、Iターン移住への自治体からの支援金の話題もあるほど少子化対策、子育て支援のニュースが多く提供されています。

子育て支援は政府の方針でもあり、自治体が模範を示さなければならない。が、手厚い対策が求められるべき年代は、岐阜市の政策の失敗で凹になっているようです。さすがに、岐阜市も改善提案に踏み切られたようですが、同時提案されたのが前記の嘱託労働者の改悪提案のようです。改善と改悪を同時決着が条件との岐阜市提案？

非正規労働者の労働条件の改悪（この改悪による一例は、年収で30万円以上の減）は、その労働者の生活改悪だけでなく公務労働の質の低下、市民サービスの低下に波及する。今回の抑制で約6500万円賃金減額が出来るとのことだが、ルイスフロイスの3Dプラスチック像は2100万円である。生身の人間の生活を削って2100万円のプラスチックの像を買う判断は何処かおかしい。人質のような提案方法でもある。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

助兵衛根性

「すけべえーこんじょう」と読みます。 広辞苑によれば、①好色な欲気。
②いろいろなものごとに手を出したがる気持。

転じて、本来の目的を忘れて、「ついでに」色々な問題を片付けてしまおうとする気持ち・行為……。 「助兵衛根性を出して、失敗した……」

(ゴチック注釈・松原のりかず)

時間休なくなって、より困るのは管理職・・・？

岐阜市職員の休暇は、今年度から時間休の取得が制限され、年間5日分(1日7時間45分勤務なら、40時間まで)となったようです。半日休は生き残ったが「5日分取得後は半日休を取得してもよい」との特例措置。

しかし、「特例の利用者が少ないと廃止」の意見も出ており、来年度から廃止? の可能性もあるとのこと。

現行の年休の平均取得率はどの程度でしょうか? たしか、年8日間という数字が改善された記憶がありません。年休は年20日間あったと思いますが、20日間取得出来る人は多く聞きません。育児や介護など、それらの休暇制度を利用出来ずに年休を使用して、20日に少し近づくとの話しは聞きますが。(年休の取得数が男性より女性が多いのは、育児や介護の責任が女性に負わされている現実をあらわしてもいます。)

1時間とか半日ではなく「1日でも多くの年休取得のために、休暇は1日単位で」と言いたいのか。でも、大変忙しくて、1日間も休んでられない、代わり的人がいらない。と、悩んでいるのは存外、管理職では? 土日関係なく出勤しているのは、管理職ばかりではありませんが、休日の本庁舎内勤務者は15人は下らない。



松原のりかず
☎058-253-2500